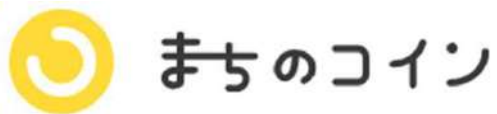


デジタル地域コミュニティ通貨 「ビワコ」について



デジタル地域コミュニティ通貨(まちのコイン)の導入

- 地域の価値や可能性を掘り起こし、出会ってほしい人や場所等をコインの拠点(スポット)として登録することで、地域外の人材とつながる機会を創出する。



導入地域：29（滋賀県を含む）
全国ユーザー数：136,457
全国のスポット数：4,165

(令和6年12月10日現在)

デジタル地域コミュニティ通貨

「ビワコ」

つながりが循環し、潤うまち
滋賀のコインは
ビワコです。

令和4年7月25日から
サービス開始



つかい方



→「まちのコイン」アプリの「読み取る」ボタンから、
QRコードを読み取るだけでコインの受け渡しが可能



イベント



スタンプラリー

デジタル地域コミュニティ通貨「ビワコ」について

基本情報

- ・ スマートフォンアプリ「まちのコイン」を導入
全国29地域で導入実績、県域で令和4年7月25日に導入
- ・ 本県での通貨単位は「ビワコ」
全国の方の利用を想定し、一目で滋賀県の通貨であることを認識していただける呼称
- ・ モデル地域
令和4年度：長浜市、近江八幡市、日野町
令和5年度：甲賀市、高島市
令和6年度：守山市、多賀町
- ・ 「ビワコ」の特徴
スマホ上の電子通貨なので、以前からある紙の地域通貨とくらべてコストがかからない
法定通貨への換金性がないため、原資が不要
コインには有効期限が定められていて、一定期間(90日)使わないと自動回収される
- ・ 現在の「ビワコ」の総流通量 ユーザー数 スポット数（令和6年12月10日現在）
333,414,274 ビワコ 22,794人 836スポット

体験事例



(近江八幡市) あきんど道商店街での活用例

ほっけ! のっけ? まつまえフェア

< 企画内容 >

- ・近江八幡市の交友都市である北海道松前町の名産をPRするコラボイベント
- ・商店街を巡るスタンプラリーコースを複数作成(1つを達成ごとに1000ビワコがもらえる)
- ・500ビワコを払うことで真ほっけの試食ができる
- ・松前町の特産品を選んでトッピングできる「のっけ丼」に、500ビワコを払うことで1トッピングを追加できる
- ・200ビワコを払うことで近隣のコインパーキングが無料になる

< 良かった点 >

- ★ユーザーが楽しんでビワコをためる体験、つかう体験が一つのイベントに組み込まれている。
- ★商店街が利益の一部をイベント参加者へのインセンティブとして提供した。ビワコに換金性がないため、クーポン的な体験の作成はなかなか難しいが、今回のように利益の一部を還元する形であれば、店舗側も取り組みやすい。
- ★商店街からは、まちのコインアプリの広告宣伝効果にメリットを感じるとの声がある(フリーペーパー等への掲載に比べ費用対効果が高い)

(甲賀市) 貴生川駅「プラッと貴生川」での活用例



プラッと貴生川 >

最終利用日時24時間以内

読まなくなった本を持ってきて交換してください！

● +100 もらう

体験された数：314回



プラッと貴生川 >

「プラッと貴生川をにきたよ」SNSで発信してください！

● +100 もらう

体験された数：332回

< 利用者の声 >

- 貴生川駅に行く用事があったので寄らせて頂きました。地域の活性化ありがとうございます。
- 実家の最寄り駅です！昔は利用してました。活動応援します！
- 近江鉄道に乗りに来ました！電車が出るまであと20分・・・！
- 駅前が賑わいますように！いつもご尽力ありがとうございます

多賀大社前駅から
150mのまちあるき



スタンプラリーに参加したユーザー数：のべ123名

- ・多賀大社前駅から150mという範囲内でまちの魅力を再確認する企画
- ・多賀大社に直行してそのまま帰ってしまう方に多賀大社前駅のまちを知ってもらい、長く滞在してもらうことを目的としている。

★QRコードを読み込むとそのスポットの解説が出るように設定したことにより、説明看板を立てなくても観光案内ができた。

★クイズも盛り込み、まちのことを楽しんで知ってもらえる企画となった

(2024年7月12日)放送

滋賀県公式youtubeチャンネルでご覧いただけます。「ビワコ 多賀町」で検索を！

草津駅を起点としたまち歩きスタンプラリー

滋賀県特別企画

地元民イチ推しのスポットをコースにまとめました！

滋賀県の特別企画第一弾として、草津のおすすめスポットをまとめたスタンプラリーを用意しました！
コースを考えていただいたのは、ホストンプラザホテル総支配人 南さんです。
ぜひ、まちのコインアプリから楽しみください！

推しのコースを考え人
ホテル ホストンプラザ草津 総支配人 南さん

全部で **12カ所**
所要時間：1時間程度～

参加方法

- 「まちのコイン」アプリをダウンロード
- スポットに行ってQRコードを探す
- QRコードをスキャン

- ホテルホストンプラザ草津**
駅前 30秒！レトロアメリカの風を感じて★
- うばがもちや** 可愛いひとくち銘菓をばくり♪
- 太田酒造 道灌蔵**
時をかける名酒蔵。地酒を堪能しよう！
- Lagom BAKESHOP**
人気カフェの幸せプリン！でひと休み☺
- 大喜** 香りの専門店で調香にチャレンジ★
- 中野酒店** ローカル酒屋でれぎ酒ビットイン～！
- 桜湯** ざ・地元銭湯でひとっぶる湯サウナ有
- まま屋 みんなのキッチン**
愛されママの絶品ランチでパワー注入♡
- THE HIDE AWAY WARDROB**
草津の夜の異世界へ迷いこめ☾
- 近江バル nadeshico**
絶品ポテトと地ハイボールで乾杯～！
- 心温泉** 人気居酒屋で〇〇焼きを注文★
- ワインと炭の音 食堂ますだ**
癖になる！大人のシメはここで決定。

実況つき！
散策ムービー
はこちら！

「ホテルホストンプラザ草津びわ湖」と県、市、地域の商店が連携し、ホテルに宿泊する方もしない方も楽しめる、草津駅を起点としたまち案内スタンプラリーを開催。

ホテルの総支配人が厳選した地元民イチオシの12箇所のスポットをスタンプラリーでご紹介。

再訪したくなる素泊まりプランも登場

（スタンプラリーに参加し3箇所以上スタンプを集めた方にはソフトクリームをプレゼント）

まちを周遊したくなる仕組みで地域活性化につなげています。住民にとっては地元の魅力を再発見できる機会に。

●スタンプラリー参加者数のべ34名

●ユーザーからのメッセージ（一部）

「明日、泊まりに行きます！」

「感じの良いお店でした」

「ハンバーグ弁当おいしかったです！」

2024年 本屋大賞受賞！

この春を成瀬に捧げる スタンプラリー

成瀬の
クリアファイルが
もらえる！

2024
4.1(月) ▶ 6.30(日)

スタンプラリー紹介

大津市を舞台にした小説『成瀬は天下を取りに行く』（宮島未希著・新潮社刊）が2024年本屋大賞にノミネートされたことを記念し、デジタル地域コミュニティ通貨「ビワコ」を使ったデジタルスタンプラリーを開催中！同書、そして続編の『成瀬は信じた道をいく』のゆかりの地をめぐって、成瀬のクリアファイルGETしよう！

📱 ちやのコインを
ダウンロード（無料）して始めよう

スタンプラリーの詳細
はこちら！

SPOT1 〓 膳所駅 成瀬と鳥飼の最寄り駅。	SPOT1 〓 セブン-イレブン 大津膳所駅前通り店 『成瀬と鳥飼がM-1賞に立ち寄ったコンビニ。成瀬はガリガリ君、鳥飼はチョコミントバーをチョイス。』
SPOT1 〓 よりみちばん 鳥飼のお気に入りのパン屋さん。鳥飼のイチオシは「塩ぱん」とのこと。	SPOT1 〓 美容ブローチエ 膳所店 成瀬行きつけの美容室。同店生の大賞かえでに教えてもらったお店。
SPOT1 〓 びっくりドンキー大津店 成瀬たちの集まり場。成瀬が注文するのはきまってるチーズバーガーディッシュ。	SPOT1 〓 フレンドマート 大津テラス店 『成瀬のアルバイト先のセレクトとなった店舗。クレーマーをやめたい主婦・鳥飼と出会う場所。』
SPOT1 〓 大津港 成瀬が年に2、3回来るミシガンの最寄り場。成瀬曰く、ミシガンは「何度乗っても飽きない」。	SPOT1 〓 湖の駅 大津おいしや 成瀬が西澤航一郎を案内した食堂。成瀬のおすめは「近江コロッケ」。
SPOT1 〓 聖文堂 成瀬が通う膳所高校のそばにあるお蔵さん。	SPOT1 〓 〓 〓 〓 〓 賞わずと知れた「かるたの聖地」。成瀬も参加した「全国高等学校かるた選手権大会」のメイン会場。
SPOT1 〓 滋賀市民センター 作中で登場する「縁結かるた」の会場。広告代理店の西澤航一郎が成瀬と逢瀬（？）の夕食を食べた。	SPOT1 〓 ハンバーステューキ 松宮屋 成瀬が「びわ湖大津観光大使」重任のお供で訪れたハレの日にぴったりのレストラン。ハンバーステューキ松宮屋では、＜成瀬＞シリーズとのコラボメニューも展開中。

かわりファクトリー 滋賀
かわりファクトリー滋賀推進協議会
TEL：077-528-3231（事務局：滋賀県総務部市町振興課）

15:45 4G 84

2024 年本屋大賞ノミネート記念！
「ビワコ」×成瀬は天下を取りに行く

この春を成瀬に捧げる
スタンプラリー

達成報酬 +1000

開催期間 2024/04/01 00:00 - 2024/06/30 23:59

スタンプカード

1 2 3 4 5

CLEAR CLEAR CLEAR CLEAR CLEAR

ホーム 体験 読みとる マップ みんなの活動

＼コラボスタンプラリーが大好評／

大津市を舞台にした小説『成瀬は天下を取りに行く』が 2024年本屋大賞のノミネート作品となったことを記念し、ビワコを活用した聖地巡礼スタンプラリーを2024年4月1日から開始。

滋賀県外 38都道府県（北は北海道、南は沖縄）から 3,000名以上の方に広く参加いただき、滋賀に足を運び周遊するきっかけとなっています。

アンケートによる推定消費額は 3カ月で1,700万円以上。

好評により 7月1日から第2弾がスタート！

地域内外のつながりに加え、消費活動にもつながっています。

「この春を成瀬に捧げるスタンプラリー」 に参加したスポットの声（抜粋）

聞き取り項目

- ①スタンプラリーによる来客増の効果
- ②スタンプラリーによる経済効果（売り上げへの影響）
- ③スタンプラリーによる客層の変化（新たな層の取り込み）
- ④参加して良かった点

●飲食店

- ①微増。
- ②売上は計れないが、スタンプラリー目当てのお客さんが200人ほど来店。
- ③元々の年齢層がスタンプラリーの客層とほぼ同じだったので変化は感じない。
- ④初めて来店された方がお惣菜をついでに購入してくれた。

●書店

- ①来客数は2倍以上増えた。書店離れが進む中でありがたい。
- ②経済効果はあった。（「成天」「成信」を2冊同時に買ってくれる人もいた。）
- ③全国から来てくれた。東京、埼玉、群馬、九州など、いろんな方に来ていただいて嬉しかった。
- ④お客さんが来てくれたことが何よりうれしい。

●小売店（パン）

- ①激増（2倍ほど）
- ②激増とまではいかないが、1.3倍ほどの増。
- ③変化あり。元々は主婦層が多かったが、老若男女来られた。
- ④成瀬ファンと交流できたことが嬉しかった。

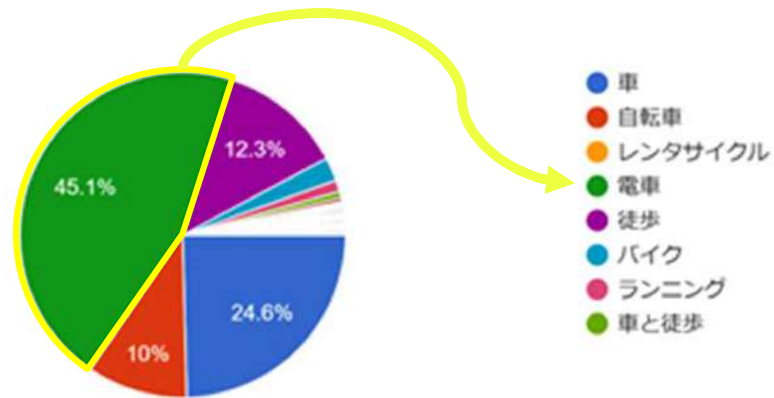
●観光業

- ①G.Wにスタンプラリー客を多く見かけた。
- ②成瀬による経済効果はあった。
- ③特に変化はなかったが、1人で来ている男の子やご家族で本を持って巡っている人もいた。

「この春を成瀬に捧げるスタンプラリー」参加者の声

スタンプラリー中の移動手段について教えてください

512件の回答



**参加者の45パーセントを超える方
(推定1,400名以上)が電車を利用！**

< 参加者の声(要約抜粋) >

- ・ずっと県内に住んでいるが、今回初めて行った場所もあり、新しい発見がたくさんあった。
- ・本を読んでスタンプラリーに参加した。成瀬を読まなければ訪れることがなかった街だが、とても楽しめた。路面電車や無人駅も新鮮。
- ・県内在住だが、ゆっくりと電車や徒歩で大津周辺をまわったことがなかった。貴重な経験のきっかけになったスタンプラリーだった。
- ・1日乗車券があり観光しやすいと思った。路面電車があたり、膳所周辺の雰囲気も素敵だった。
- ・滋賀に向かっている電車でスタンプラリーを知り、そこからアプリをインストールしても達成できるほど始めやすく集めやすい手軽さだった。おかげで琵琶湖以外の滋賀を知ることができた。
- ・今回はスタンプラリー目的で訪問しただけだったので、他のエリアもゆっくり訪ねてみたい。
- ・家族で回った。のんびりとしてラッピング電車にも乗れてとても楽しい時間を過ごせた。
- ・適度に徒歩と電車で回れる範囲で良かった。第二回も楽しみにしています。

ご提案



近江鉄道の利用促進と沿線市町の活性化につながる 「ビワコ」活用のご提案

- ・ 近江鉄道株式会社と沿線の各市町に「ビワコ」に参画していただくことで、**鉄道利用と沿線地域の魅力を結びつける体験**(スタンプラリー等)が提供でき、沿線住民や観光客による**近江鉄道の利用促進と地域の活性化**につなげることができます。
- ・ 近江鉄道パートナーズクラブの会員をはじめとする近江鉄道ファンへの企画や沿線市町の駅周辺でのイベントなど、**これまでの取組に「ビワコ」で付加価値を付けることで、さらなる集客とまちの賑わい**が期待できます。

「ビワコ」の運営団体としてご参画いただいた場合にできること

①認知拡大



イベントなどの必要な情報を、**瞬時に2万人に告知できる「一斉告知機能」**やユーザーが毎日目に触れる**ホーム画面への「スポンサー広告掲載機能」**により、近江鉄道の認知を拡大。

▼運営団体が使用できる機能

- ・ユーザー/事業者への一斉告知
- ・ホーム画面へのスポンサー掲載

②回遊促進

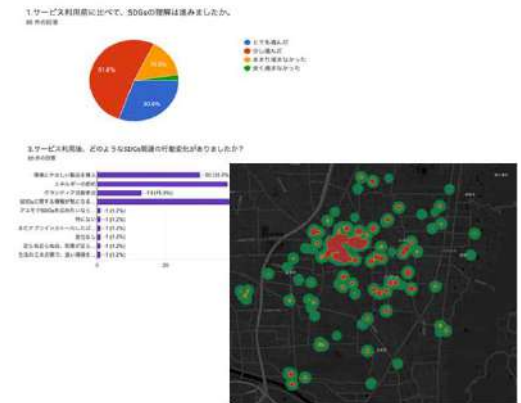


「成瀬は天下を取りに行く」とのコラボでは、3カ月で38都道府県から3,000人以上が参加(推定消費額1,700万円以上)。豊郷駅「けいおん！」をはじめとする沿線市町の有力コンテンツでの展開が考えられる。また、駅を起点として地元民に人気のスポットを巡る「推し歩き」、建築物をめぐるスタンプラリーなども好評。(地域資源の発信)

▼運営団体が使用できる機能

- ・スタンプラリー(令和7年度は最大50個まで作成可能)
- ・コイン拾い

③継続利用



利用者アンケートや「ビワコ」の利用データの分析により、事業効果を把握。複数の事業のデータを集約することで、データに基づく継続・発展的な事業展開が可能。

▼運営団体が使用できる機能

- ・利用者データの分析
- ・アンケート/感想募集

来年は、本県で「わたSHIGAかがやく国スポ・障スポ2025」が開催され、全国から滋賀県に多数の選手・役員・観客が来県されます。

また、「大阪・関西万博」来場者の本県へのいざないにも取り組みます。

この絶好の機会に近江鉄道の利用促進と沿線市町の活性化に「ビワコ」の活用をご検討ください！

